

ふきのとう

気もちをこめて音読しよう

やること①

教か書十四ページから二十三ページを一回音読します。

やること②

教か書十六ページのばめんについて、かんがえたことを書きこみます。

これはだれが話したことばですか。

このことばを、どんな風に読みますか。

どこかで、小さなこえが しました。
「よいしょ、よいしょ。おもたいな。」
竹やぶの そばの ふきのとうです。
雪の 下に あたまを 出して、
雪を どけようと、ふんばって いる ところです。
「よいしょ、よいしょ。そとが 見たいな。」

このことばを、どんな風に読みますか。

やること③

教か書十四ページから二十三ページを一回音読します。

・「かぎかっこ」がついているところは、話していることばです。気もちをこめて読んでみましょう。
・「ささやいて」「小さなこえが」は小さな声で読んだり、「ざんねんそうです」のところはかなしそくに読んだり、「わらいました」のところはうれしそうに読んだり、くふうして読んでみよう。